

こんな質疑がありました…

身近な予算”です

新年度事業に対する
質疑がたくさん出
されました。その一部
をお伝えします。



こんな議案を審議しました

そこが聞きたい一般質問

委員会のつづき

その他



中央小学校大規模改造工事

Q 小中学校にエアコンを設置するための
予算が計上されていないが。

A 平成 26 年度に実施設計を行ったが、国庫
補助金の見通しが立たないため、当初予算
の計上を見送らざるを得なくなった。国は、平成
27 年度を学校耐震化の完了目標年度にしている
ため、全国からの補助要望が集中し、予算の確
保が十分にできなかったようである。国への補助
要望は、引き続き行っていく。

Q 児童虐待防止対策には、これからも相
当の力を入れてやっていかなくてはな
らないと思うが、新年度の計画は。

A 保育所や保健センターを含めた職員向け・
町民向けの研修、及び啓発グッズの作成な
どを計画している。

Q 町全体で、防犯灯は何基あるか。
そのうち、既にLED化しているものは
何基か。

A 現在、町と区が管理しているものを合わせ
て 3021 基ある。そのうち 2485 基は、まだ
LED化していない。この分は平成 27 年度にメ
ンテナンスつきリリースに移行し、既存の蛍光管は
全て町の予算でLED化する。

Q 中央小の大規模改造工事に、東毛広域
幹線道路の騒音対策を考えているか。

A 北側全面を二重サッシにすることなども検
討したが、交通量がふえている中でも学校
側から騒音が気になるとの話はなく、様子を見る
ことにした。現段階では、設計上騒音に対する対
応は行っていない。

Q ふるさと納税奨励事業で、寄附者への
謝礼の予算が大きく増加している。
どのくらいの税収を見込んでいるのか。

A 平成 26 年 4 月から現在まで 150 件、約
350 万円の寄附があった。平成 27 年 6 月
からクレジット決済を始める予定だが、導入する
と通常の 5～20 倍に伸びるとの情報もある。当
町においても、少なくとも 7～8 倍に伸びるの
ではないかと見込んでいる。

Q 新規事業の剪定枝等破碎設備設置事業
とは、どのような事業なのか。

A 庭木の持ち込みが年々ふえており、概算で
年間 600 トンほどある。今まではクリーン
センターの破碎機で細かく碎いて焼却していた
が、今後はバイオマス発電施設の燃料等として
リサイクルするため、破碎設備の設計を行う。

町の予算は“もつとも”

Q 町道 2077 号線の工事内容は。

A 齊田上之手線と東毛広域幹線道路の交差点から北側に新しく道路を整備するもので、県道高崎伊勢崎線までの間を両側歩道つきの道路に新設改良する。

Q 道の駅周辺ガイドマップ作成事業費が 27 万円で足りるのか。

A 平成 26 年度中にある程度の素案を作成済みである。玉村町のグルメや歴史資産を初め、道の駅を中心に町を散策できるようなルートも紹介している。2 万 5000 部印刷する予定である。

Q 文化センター周辺地区まちづくり事業に伴う土地の買収は全て終わったのか。

A 区画整理としての区域内の買収は、あと 1 人を残して完了している。

Q 花火大会が上陽地区へ場所を変えて行われるようだが、移転補償費とは何か。

A 電柱移設のための費用である。打ち上げ地点の保安距離にかかる部分の電柱 14 本を移設する予定である。

Q 道の駅の予算のうち、毎年度かかる費用と平成 27 年度だけかかる費用の内訳は。

A 毎年度かかる費用は、約 8900 万円である。平成 27 年度のみ事業として、EV の設置工事、各システムなどの保守点検費として 5 年間の先払い契約を行う予定である。

Q 4 月に開館予定のまちなか交流館事業に、約 450 万円の予算がついている。この経費が、今後毎年かかるということか。

A 基本的には、この予算で施設の定期的な維持・管理を行っていく予定である。

文化センター周辺地区まちづくり事業

特別会計・事業会計予算額 全て原案可決（賛成全員）

国民健康保険特別会計	後期高齢者医療特別会計	介護保険特別会計	介護予防サービス事業特別会計
42 億 1748 万円 前年度比 17.7%増	2 億 4826 万円 前年度比 2.4%増	22 億 615 万円 前年度比 8.8%増	1340 万円 前年度比 19.8%増
下水道事業特別会計	宅地造成事業特別会計	水道事業会計	
14 億 7200 万円 前年度比 9.5%増	705 万円 前年度比 99.3%減	8 億 8007 万円 前年度比 4.2%減	